

# 令和元年度事業報告書

令和元年度は、平成29年度からスタートした『新10年経営計画』に基づき、各事業を執行しましたが、令和2年1月に発生した新型コロナウイルス感染症が運営事業全てに大きく影響し、大幅な赤字を計上することとなりました。

利用状況については、年間利用者45.3万人の目標に対して、39.2万人と6.1万人減（▲13.4%）、事業収益について、負担金収入を除いた事業収益は、7億6,540万円の目標に対して9,758万円減（▲12.7%）の6億6,782万円となりました。

損益においては、税引後で約1,986万円（対前年▲3,033万円）の赤字となりました。その結果、正味財産は4,517万円となりました。

各部門の利用状況等は以下のとおりです。

## I 勤労者福祉事業等

### 1 雇用促進、就業支援事業

札幌商工会議所と連携し、近隣小中学校をはじめ市内高等学校のインターンシップを受け入れました。（15校 90名）

### 2 地域関連事業

地域社会への貢献を目的として、『スローライフ・イン・にーよん』事業をはじめとする町内会、商店街、料飲店協会等が主催する事業に積極的に参加・協力し、地域交流、活性化に取り組みました。

主な事業としては、以下のとおりです。

- (1) 暴力追放街頭啓発活動（1月以外の毎月1回：日曜日以外の10日に実施）
- (2) 古紙回収事業（通年）
- (3) フラワーロード事業（6月初旬～10月初旬）
- (4) ノースロード24フェスタ（7月24・25日：屋外（正面）、広場他）
- (5) 24「ワンコイン商店街」（9月7日：広場）
- (6) 24はしご酒（10月17日：広場）
- (7) 24ロードウインターフェア（年末、12月29・30日抽選会：広場）
- (8) にーよんアイスクャンドルナイト（2月3日～5日：広場、小公園他）
- (9) ニーヨンエリアミュージックフェスティバル（1月26日：音楽ホール）

## II 札幌サンプラザ運営事業

### 1 プール

短期教室の開催・新規入会キャンペーンを実施したほか、ホリデーテーリングに参加するなど会員増に努めました。また、消費税率のアップに伴い料金改定を行いました。

利用状況は以下のとおり、対前年で、水泳教室は7,075人の減、一般開放は3,835人の利用減となり、全体では10,910人の利用減となりました。

( ) 内は平成30年度実績

(1) 水泳教室	利用人数	50,980人	(58,055人)
	1日平均	141人/日	(161人/日)
(2) 一般開放	利用人数	20,089人	(23,924人)
	1日平均	56人/日	(66人/日)

### 2 音楽ホール

自主公演として、4月に地域の小中学校の吹奏楽演奏会、2月には『オペラ公演』を継続して開催しました。

利用状況として、2月までは、ほぼ前年並みの推移でしたが、対前年、件数では21件減の176件、人数では4,823人減の58,898人の利用となりました。

( ) 内は平成30年度実績

(1) 利用件数	176件	(197件)
(2) 利用区分数	398区分	(435区分)
	1件あたり	2.3区分/件
(3) 利用人数	58,898人	(63,721人)
	1件あたり	335人/件
(4) 稼働率	54.7%	(60.8%)

### 3 文化教室

子供対象の英会話教室やそろばん塾などの新規開講の他、すすきのラフィラ閉鎖の影響もあり、3月末の講座数としては、121講座と対前年、14講座の増加となりました。しかしながら、自粛の影響から、利用人数としては、対前年、683人減の22,674人となりました。

また、2月末に予定した音楽ホールでの発表会は中止しました。

(平成30年度実績：23,357人)

## 4 会議

令和元年度は、スポーツ団体等宿泊者の夕食会場としての利用の増加もありましたが、大型会議の件数減、自社内で実施する会議への移行等も見受けられました。結果、件数で2,051件（対前年275件減）、利用人数では86,272人（対前年9,806人減）となりました。

（平成30年度実績：2,326件、96,078人）

## 5 宿泊

引き続き道内セールスを実施し、スポーツ、文化系の大会参加時の宿泊、小学校の研修旅行時の宿泊等の利用促進、並びに宿泊を伴う会議誘致に努めました。

また、インターネット予約サイトの活用、併せて昨今の好調な観光利用もありましたが、利用人数は19,680人と前年を1,529人下回り、客室稼働率も67.6%と、前年を1.1ポイント下回りました。

（平成30年度実績：利用人員：21,209人、客室稼働率：68.7%）

## 6 レストラン

例年実施している各種フェアのメニューの充実を図るとともに、割引情報を掲載したイベントカレンダーを配布、掲示し、販売増に努めました。併せて、『クリスマスピアノコンサート』などの企画を引き続き実施し利用の拡大を図りましたが、利用人数は、85,931人となり、対前年9,023人の減となりました。

（平成30年度実績：利用人数：94,954人）

## 7 宴会

### （1）一般宴会

自主事業の『晚餐会』等の企画を交え、継続物件をはじめ、新規物件の受注拡大、過去に利用のあった企業の訪問等、販売促進に努めましたが、利用件数は987件（対前年137件減）となり、利用人数は45,158人（対前年7,837人減）となりました。

（平成30年度実績：1,124件、52,995人）

### （2）法要

内覧会の開催、DMの発送、HPを活用したPR、並びに地下鉄沿線へのチラシのポストインを行いました。172件と対前年2件減、利用人数は2,412人と対前年253人減となりました。

（平成30年度実績：174件、2,665人）

### Ⅲ ふれあい広場利用状況等

地元アーティスト展、近隣高等学校の校外展、文化団体の作品展示会や市・道民税申告受付会場、フリーマーケットの利用、地元商店街（北24条商店街）との共催によるイベントを実施しました。利用件数52件、約18,100人の来場者がありました。

（平成30年度実績：利用件数：50件、利用人数：約18,600人）

### Ⅳ 理事会及び評議員会の開催

#### 1 第1回 理事会（平成31.4.1 書面決議）

- （1） 評議員会の開催について

#### 2 第1回 臨時評議員会（平成31.4.1 書面決議）

- （1） 評議員の選任

#### 3 第2回 理事会（令和1.5.29 札幌サンプラザ）

- （1） 平成30年度 事業報告
- （2） 平成30年度 決算報告及び監査報告
- （3） 定時評議員会の開催について

#### 4 定時評議員会（令和1.6.25 札幌サンプラザ）

- （1） 平成30年度 事業報告
- （2） 平成30年度 決算報告及び監査報告
- （3） 理事・評議員の選任

#### 5 第3回 理事会（令和1.6.25 札幌サンプラザ）

- （1） 理事長の選任

#### 6 第4回 理事会（令和1.8.1 書面決議）

- （1） 評議員会の開催について

#### 7 第2回 臨時評議員会（令和1.8.1 書面決議）

- （1） 理事の選任

#### 8 第5回 理事会（令和2.3.26 書面決議）

- （1） 令和2年度 事業計画
- （2） 令和2年度 収支予算
- （3） 臨時評議員会の開催について

## V 新型コロナウイルス感染症の影響

令和2年1月に発生した新型コロナウイルス感染症は、札幌サンプラザ運営事業に非常に大きな影響がありました。

財団としては、各会場に消毒用アルコールの配置、配席の工夫、職員のマスク着用、手洗いの徹底等、感染防止に最大限の努力をし、対応いたしましたが、利用される方の自粛、札幌市の感染拡大防止対策に伴う休業等により3月については以下のとおりの状況となりました。

### 1 プール

プールについては、札幌市の感染拡大防止対策の1つとして、3月1日から31日まで休業とし対応しました。

このため、3月については利用者ゼロという状況となりました。

### 2 ホール

11件中止、または延期となり、約2,000千円の減収となりました。

### 3 文化教室

ほぼ自主休講となり、単月の利用では対前年約50%の利用となりました。

### 4 会議・研修

82件のキャンセル、約8,000人の利用減、約4,000千円の売上げ減となりました。

### 5 宿泊

対前年約50%の利用となりました。

### 6 レストラン

座席間の距離の確保、パーティションの活用、時短営業等を実施し、営業を継続しました。54件の予約キャンセル、約1,550千円の売上げ減となりました。

### 7 宴会

89件のキャンセル、約22,640千円の売上げ減となりました。この状況は、売上で対前年3%程度の達成率、利用人員についても10%に満たない結果となりました。

### 8 法要

法要については、それぞれ家族単位の利用が多く、少人数の場合が多いため、7件のキャンセル、約1,300千円の売上げ減となりました。

9 駐車場

定額での委託となっているため収入は対前年で同額でしたが、利用台数は46.7%となりました。

10 その他

コインロッカー、収入としては少額ではあるものの対前年3.3%の売上となりました。